

平成 22 年 度 学 校 目 標

学校目標	取 組 の 内 容	
	具体的な手立て	評価の観点
学ぶ力を着実に身につけさせ、学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確かな学力向上のための取組を充実させる。 ・ 授業改善のための教科会や研究授業、公開授業を実施する。 ・ 授業担当者間の日常的な情報交換によって授業改善を行う。 ・ シラバスを提示し授業の目的を明確化することによって、生徒の学習意欲を高める。 ・ 実験・実習や演習を取り入れることで生徒の主体的な学習姿勢を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期休業中等の講習・補習の充実。(35講座以上の設定、200名以上の参加) ・ 授業研究教科会(年間9回)や公開授業を実施することで授業改善を行えたか。 ・ 生徒による授業評価を活用する。
生徒一人ひとりの可能性を見据えたキャリア教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年間を見通した「キャリア教育実践プログラム」の実践の推進を図る。 ・ インターンシップを拡充し進路指導を充実する。 ・ 講演会やガイダンス、校外学習など様々な学びの場を設定し、生徒が自分の可能性を発見する機会を設ける。(各学年でガイダンス・講演会を2回以上実施する) ・ 学校外の教育力を活用し生徒に幅広い教養を身につけさせ、生徒の生きる力を育てる。 ・ 保護者や生徒との面談を充実させて、生徒一人ひとりの可能性の伸長を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「キャリア教育実践プログラム」の実践による生徒の進路に対する意識の状況。 ・ 進路実現率100%が達成できたか。 ・ 校外学習やガイダンス、講演会等を実施して、生徒に学びの場を提供することができたか。(各学年で2回以上実施)
生徒の自主性を育み、社会性を身につけるための生徒指導を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒とのコミュニケーションを重視し、充実した学校生活のための支援を行う。 ・ 社会人としての意識を高めるための生徒指導を充実させる。特に遅刻指導や交通安全指導、制服指導に重点を置く。(月に遅刻5回を超える者を遅刻指導対象者とし指導する) ・ 学校行事や地域貢献・ボランティア活動などの心ふれあう教育により生徒の個性や自主性を伸ばす。(地域貢献活動は学校全体年1回と生徒会本部及び部活動は年1回以上実施する) ・ 自己肯定感を基盤として他者を尊重し多様性を認め合う力を育てる。 ・ 部活動の活性化等、生徒が生き活きと活動・活躍できる環境づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規範意識が高まり生徒に社会人としての意識を高めることができたか。 ・ 地域貢献、ボランティア活動の充実度。 ・ 各学年で遅刻指導対象者を月5名以内にする。 ・ 学校行事における生徒の自主性の伸長や満足度の状況。 ・ 部活動加入率80%を目指す。(対前年5%アップ)
地域に開かれた、信頼される学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校見学会、説明会の内容を充実させ、中学生や地域に向けて効果的な情報発信を行う。 ・ 家庭・生活教育の実践校として社会や家庭環境のあり方などを中心に研究を深める。 ・ ホームページの更新によって学校の行事の様子や移転準備の様子をタイムリーに発信する。 ・ エコ活動を推進するなど、生徒にわかりやすい身近な環境教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校見学会、説明会の内容の充実の状況 ・ 学校の様子をタイムリーに発信できたか。(月ごとのホームページの更新12回) ・ エコ活動等の環境教育の充実度。
生徒が安心して学べる学習環境の整備に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震対策や学習環境の点検・整備を充実させ、安全で快適な学校生活ができるようにする。 ・ 生徒への防災・安全教育の充実を図る。 ・ 学校移転や新校舎建築の計画を円滑に進める。 ・ 事故・不祥事を防止する意識を徹底し、事故・不祥事ゼロを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の校舎の安全点検を行えたか。 ・ 校舎新築・移転計画を円滑に進められたか。 ・ 生徒が安心して学べる環境整備に努められたか。 ・ 不祥事防止研修会の充実。(年間6回実施)
教育目標・教育方針・中長期的な方針など <ul style="list-style-type: none"> ・ 「個を生かす学習活動」を中心に据えた、教科・総合学習・特別活動の指導を通して「学ぶことの面白さ」を伝えることで、自ら学ぶ姿勢を育てる。 ・ 社会規範を身に付けるとともに自己実現に向けて努力する姿勢、社会改善を目指す姿勢を育てる。 		